



令和元年 8 月 20 日

報道機関 各位

東北大学大学院生命科学研究科

日本植物学会第 83 回大会 公開講演会 復興：植物科学による環境の再生

【概要】

東北大学大学院生命科学研究科では、日本植物学会第 83 回大会 公開講演会「復興：植物科学による環境の再生」を共催いたします。つきましては、本イベントの幅広いご周知にご協力いただきますようお願いいたします。

2011 年の東日本大震災で発生した津波、そしてその後の復興工事によって沿岸部の植生は大きな影響を受けました。環境を回復するために、植物研究者や植物愛好家は、植生、生態系の回復や希少植物の保全のための取り組みを続けてきました。植物を利用して津波による塩害からの回復を図る試みも進められています。

本公開講座では、震災から 7 年以上に及ぶこれまでの取り組みを紹介し、植物の力を借りた自然環境の保護、植物研究が社会に果たす役割について考えてみます。

【日時】令和元年 9 月 14 日(土) 13:00～15:30

【会場】東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2 階 M206

【主催】日本植物学会

【共催】東北大学 大学院生命科学研究科

【HP】 <http://bsj.or.jp/bsj83/koukaikouen.html>

【備考】定員 420 名(事前登録不要)

【問い合わせ先】

東北大学大学院生命科学研究科

担当 斎藤 圭 (さいとう けい)

電話番号：022-217-5710

Eメール： kei.saito.c7@tohoku.ac.jp

公開講演会

復興：植物科学による 環境の再生

参加費
無料
(事前登録不要)

司会

経塚 淳子
東北大学大学院
生命科学研究科

2011年の東日本大震災で発生した津波、そしてその後の復興工事によって沿岸部の植生は大きな影響を受けました。環境を回復するために、植物研究者や植物愛好家は、植生、生態系の回復や希少植物の保全のための取り組みを続けてきました。植物を利用して津波による塩害からの回復を図る試みも進められています。本公開講座では、震災から7年以上に及ぶこれまでの取り組みを紹介し、植物の力を借りた自然環境の保護、植物研究が社会に果たす役割について考えてみます。

01
はじめに

三村 徹郎
神戸大学理学研究科・
日本植物学会会長

02

震災から8年：
福島県の沿岸部植生の
現状と課題

黒沢 高秀
福島大学
共生システム
理工学類

03

復興事業と
海岸環境保全の両立は
どうなされるべきか

平吹 喜彦
東北学院大学
教養学部

04

植物を用いて
来たるべき
次の災害に備える

中静 透
総合地球環境学
研究所

05

菜の花の力で
被災農地の復興を

北柴 大泰
東北大学大学院
農学研究科

06

最後に
-将来展望-

高橋 秀幸
東北大学大学院
生命科学研究科

日時

令和
元年 9月14日(土)
《13:00~15:30》

会場

東北大学 川内北キャンパス
マルチメディア教育研究棟
2階 M206



● お問い合わせ

日本植物学会第83回大会事務局

〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内12-2 東北大学植物園
mail : bsj2019@ige.tohoku.ac.jp
URL : <http://bsj.or.jp/bsj83/index.html>



詳しくはQRコードから
ホームページへ
アクセスしてください。